

題名 私の大好きな海

作者名 谷吉 英恵(たによし はなえ)

学校名 神戸市立義務教育学校港島学園小学部

学年 三年

私は今年、兵庫運河真珠貝プロジェクトに参加しました。プロジェクトの1回目は、あこや貝に核とパールを入れました。その後はそうじを担当制で2回しました。私の1回目のそうじの日は前の週が台風でそうじがなかったので、すぐくどぶ臭いし、汚れが目立ったし、かきとふじつぼなどがたくさん付いていました。服も軍手もどろどろになりました。ほや貝はひもに付いて育っていたので、さわってみると、思ったよりかたくて、水に出して押すとしてっぽうみたいに水がぴゅーっと出て面白かったです。2回目のそうじの時は貝はきれいで、そうじの時間もかからないし、楽でした。1週間そうじしただけでこんなに変わるのだと初めて知りました。夏休みは兵庫運河の水を顕微鏡で見たり、塩分のうどをはかったり、あこや貝でかざりを作ったり、貝をペーパーで削ってみたりと色々な経験をさせてもらいました。そうじの前に、兵庫運河にエイが大量発生しているとニュースで見ました。それであこや貝も食べられないかと心配になったので、真珠貝プロジェクトの人に聞いてみると、多分、あこや貝はネットにも入っているし、アサリみたいな貝しか食べないので、大丈夫だと思いますと答えてくれたので、少し安心しました。急にエイがなんで兵庫運河にやってきたのかな?と不思議に思ったので、ニュースなどをよく見てみると、エサを求めているというのと、気温がちょうどよいみたいで来ているようでした。ニュースを見るとあさりの養殖所の人が必要な種類の魚は増えてきているのはうれしいけど、エイにあさりを食べ散らかされているのはうんざりと言っているのが忘れられません。私は5才の時におきなわへ旅行へ行つて、ホテルで飼われているエイにえさをあげたことがあるので、エイはかわいいなと思っていました。ですが、あさりの養殖所の話聞いて、エイはこまった生き物だと思いました。お母さんもエイにきょうみを持ち始めたので色々としらべました。須磨水族園のお姉さんに聞いてみると、エイの歯はどんどん新しくなると言っていました。ということは虫歯になっても生え変わるということなので、便利だなと思いました。お母さんは歯医者通いでうんざりしていると言っているとのことなので、うらやましいと言っていました。須磨水族園のエイのすいそうの底にはエイの歯が落ちていそうです。私の歯もどんどん新しくなってくれたら歯を磨かなくてすむので、外でチョコレートを食べてそのままでもいいし、夜もすぐに寝れるし、時間短縮になるからいいなと思いました。

あと、エイが増えていくというので、釣ったら良いんじゃない?と思いましたが、毒を持っているそうなので、釣ってる場合じゃないと思います。襲ってはこないそうですが、間違つて踏んでしまったりすると毒をいれられるので、気をつけないといけないと思います。海のことを調べると、今は栄養不足だそうです。魚のエサになるプランクトンが少なく、放流しても魚が育たないそうです。どうしたら私の大好きな魚やノリが育つてたくさん食

べれる海になるのか？ということも調べました。海底こううんやかいかいぼりをしたら良いそうですね。海と山は別のものと思っていました。両方つながっているもので、山からの栄養が海の栄養になっていると知りました。また2050年にはこのままいくと海の魚よりゴミの方が多くなってしまうそうです。私ができることと言えば、ごみひろい！時々家族でゴミ拾いをしているのですが、時々ではなくしょっちゅうゴミを拾わなければいけないなど思いました。これからいっばい海のお魚を食べたいです。また今度、真珠のとりわけです。どう育ったか、楽しみです。